

会 議 録

会議名	令和5年度 第2回 大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時	令和5年7月25日(火) 18時30分～19時45分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	20人 (別紙のとおり)	
	その他	7人 都市計画課長、生涯学習課長、公園課長 他4人	
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、他1人	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	5人	
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりの進捗状況について</p> <p>(2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p>		

審 議 経 過

1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

2 議 題

（1）次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりの進捗状況について

生涯学習課から「淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて」、「次世代ふちのベニユース」及び「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」概要版の資料に基づき説明。

主な説明内容

・淵野辺駅南口周辺のまちづくりの進捗状況について5つの視点から説明

1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況について
2. 淵野辺駅南口周辺のまちづくり現状と課題
3. 公共施設マネジメント
4. これまでの経過
5. まちづくりビジョンの概要

<ビジョン策定の基本的な考え方について>

1. 市民意見を踏まえたビジョン策定：これまでのまちづくり会議の意見や市民検討会の結果等を踏まえて、平成29年12月に公表した基本計画（案）の見直しを行い新たなビジョンを策定した。
2. 民間提案の活用：民間事業者との対話等を行い、アイデアを柔軟に取り入れながら取り組み内容の具体化を図る。
3. 将来にわたる市の財政負担の軽減：公共施設の再整備後に発生する跡地等を売却や貸付等の手法により活用。施設の整備・運営における民間活力を導入により費用負担を極力少なくし、将来の財政負担の軽減を図る。

<目指すべき将来のまちの姿について>

将来像：「人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のある ちょうどいまち 淵野辺」

<まちづくりの基本方針について>

淵野辺駅南口周辺の用途地域が住居系のエリアを「やすらぎゾーン」、近隣商業地域のエリアを「にぎわいゾーン」とする。それぞれのゾーンに、「地域のシンボルエリア」、「地域のソリューションエリア」を設定する。

<まちづくりの進め方について>

第1ステップ 公共施設の再整備などを中心としたまちづくり。

第2ステップ 跡地活用による駅前自転車駐車場の再整備などの課題解決や、駅前市有地の有効活用など民間活力の活用等による地域の活性化に向けたまちづくりとし、一体的かつ段階的に進めていく。

<鹿沼公園リニューアルのコンセプトについて>

「集う、動く、遊ぶ、学ぶ、憩う 多彩な活動・多様な人々の結び目となる公園」

<公共施設再整備の基本方針について>

「目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設」をコンセプトとして設定して、

- ①複合施設と公園エリアのつながりによる連続性・一体性の確保
- ②本に囲まれ誰もが気軽に利用できるゾーニングや動線の検討
- ③ゆるやかにつながり、新たな学び・活動や交流（連携）を生み出す拠点の整備
- ④共用部分の集約化等による十分かつコンパクトな施設規模
- ⑤中央図書館としての機能の充実
- ⑥スペースの有効活用による新たなニーズへの対応
- ⑦ユニバーサルデザインや脱炭素社会の実現を見据えた施設・設備の7項目を方針とする。

<公園のリニューアルの方向性について>

児童交通公園、遊具広場、白鳥池、築山は、存続しリニューアル

テニスコート、駐車場は、移転しリニューアル

軟式野球場、水生植物池は廃止し他の施設にリニューアル

複合施設配置ゾーンとしては、駐車場から駐輪場にかけての範囲の池北側案を基本として検討している。

<利用者駐車場・駐輪場について>

駐車場については、図書館敷地に移転を検討。

駐輪場は公園内への乗入防止のため、各主園路の出入口付近に整備。

<複合施設の全体方針について>

市民活動スペースについて、誰もが気兼ねなく利用できるように、「にぎわい空間」「活動空間」「静かな空間」に区分けする。

にぎわい空間：フリースペース、子どものためのスペース

活動空間：会議室等、アトリエ、料理実習室、スタジオ、多目的ホール

静かな空間：静寂読書室、ワーキングスペース・学習室、相談室

・次世代ふちのベネユースについて

<出前授業の開催について（大野北中学校）>

日時：5月18日（木） 対象者：1年生6クラス 240名

内容：「わがまち」淵野辺のまちづくりを考えよう」をテーマにグループワークを行い、様々なアイデアを考えていただいた。

<サウンディング型市場調査に係る現地説明会の実施について>

日時：6月13日（火） 参加数：32社

内容：市立図書館にてまちづくりビジョンの内容について説明を行い、その後、現地見学会を実施した。

<青少年学習センター利用者懇談会での意見交換について>

日時：6月18日（日） 対象者：利用者団体

内容：まちづくりビジョンの内容について説明を行い、施設の課題や求める機能について意見交換を行った。

<おおのきた公民館まつりにて子ども向けオープンハウスの実施について>

日時：6月25日（日） 対象者：来場者約190名

内容：会場に設置したパネルに基づき、まちづくりビジョンについて説明し「こんな

ことができたらいいな、こんな場所があったらいいな」といったアイデアをいただいた。

主な意見（○は委員の発言、●は市の発言）

○昨年度のまちづくり会議等にて説明していただいた取組状況と変わったことはあるのか。

●まちづくりビジョンの内容からは変わっていない。現在、民間事業者からアイデアや要望をいただくことを目的にサウンディング型市場調査を実施しており、6月13日に説明会と現地見学会を行った。また、まちづくりビジョンに基づく出前授業や子ども向けオープンハウス等を実施した。

○まちづくりのテーマ（将来像）は抽象的であり、過去のまちづくり会議でもその旨を伝えたが、全く変わっていないので今後はどのように将来像を反映していくか。

●意見をいただいたことは承知している。その後、パブリックコメント等でも抽象的で分かりづらいといった意見をいただいているので、そのような意見を踏まえて、まちづくりビジョンの中では、注釈等での記載や分かりやすくなるように工夫させていただいた。

○まちづくりプランではもう少し具体的なまちづくり（公園、施設含め）の方向性を示してほしい。

●今後、まちづくりプランを作成していく過程で、まちづくり会議等の意見を踏まえながら作り上げていきたい。

○サウンディング型市場調査の業者への呼びかけ方法、参加業者数、業種等を教えていただきたい。

●相模原市ホームページへの公表や委託業者の呼びかけ等で募った。説明会・現地見学会には32社の参加があり業種は維持管理系、建設系等多種に渡っている。

○想定内の参加見込数か。

●当初想定していた数より多くの業者に参加していただいたと認識している。

○サウンディング型市場調査等の結果について令和5年10月頃公表とあったが、どのような形で結果の公表を行うのか。

●これから業者と行う対話の内容次第ではあるが市民の方々にも分かりやすい内容・表現にて公表したいと考えている。

○この事業を進めていくに当たり、駅前の道路事情等の変化や人の流れなど大きく影響が出てくると思うが、駅周辺の都市計画をどの様に考えているのか。

●まちづくりビジョンでいうと、ステップ2に該当する部分であり、今年度当初から検討を進めている。まずは民間事業者に対してアンケート等を行う予定であり、今後のまちづくりプランにおいて、もう少し方向性をお示ししたいと考えている。

○人の流れや交通の流れが大きく変わるのでしっかり検討してもらいたい。

●朝夕の道路の混雑等の現状の課題を踏まえて、どんな取り組みができるか検討していきたい。

○「ちょうどいいまち」というフレーズは抽象的過ぎて違和感がある。市長と話す時も、いつも「誇れるようなまちをつかってほしい」と伝えているが、その方向性と異なっている。但し、コンセプトについては、平成29年の計画案の方向性に戻っているので、納得している。駅を降りた瞬間に素晴らしいまちが広がっているというのが理想であり、そういったまちにしてほしい。

●まちづくりビジョンP24に記載があるが、「市民が誇れる」というフレーズを追記し

た上で、今後目指すまちの姿の将来像を設定している。

○サウンディング型市場調査における民間事業者のアイデアを生かして、素晴らしいものをつくってほしい。

○自転車駐車場について駅前整備ということが決まっているが、検討の経過を教えてください。

●市民検討会の中で、自転車駐車場が駅前に無かった時代に放置自転車が課題となっていたことから駅前が良いとの意見も踏まえて、今に至っている。

○市民検討会の中で自転車駐車場の話も議論していたが、ステップ2に切り替わったので、検討課題から外れたという認識である。市民検討会の中で、駅前から施設までデッキ等で繋げる案などのアイデアは出している。

●自転車駐車場の検討については、市民検討会で駅前に機能維持という結論を出した上で、具体的な内容の検討についてはステップ2として市民検討会での検討から切り離れた経過がある。

○自転車駐車場については、JRとの連携やJR用地を活用するなど、関係組織との連携も検討しながら進めてほしい。また、自転車駐車場を整備することよりもバスの増便やバス利用に切り替えてもらうことが大事ではないか。以前見た資料では、児童館の跡地に自転車駐車場を整備する形になっていたが、児童館という子どもたちが利用する施設の跡地に自転車駐車場を建てるのは反対である。それなら、マンションなどを建設して賃借した方が稼げるのではないか。自転車駐車場は、駅前ではなく、施設の端にあればよいと思う。

(2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

事務局から資料に基づき、令和5年度大野北地区まちづくりを考える懇談会のテーマ(案)について説明した。

<テーマ1：公共施設の再整備と淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて>

・市に対して行う意見や要望が今後、どのような形で新たなプランに反映されるのかを確認する意味合いから昨年度と同様のテーマとし、市からの検討状況と進捗状況について所管部署からの説明を求め今後、策定される複合施設の具体的なプランについて伺うとともに今後、地域の意見をフィードバックできるようにするため懇談したい。

<テーマ2：高齢者のごみ出し支援について>

・高齢者のごみ出し支援については多大な労力が必要となり将来的にも支援ニーズが増大することが予想され、支援する側を悩ませている問題がある。一つの解決策として、ごみの戸別収集が効果的であり「高齢者のごみ出しに対応した有料戸別収集」について、改めて現状を把握していただき、再考をお願いしたい。また、一部の地方自治体では支援制度を確立している状況があり、本市への導入を検討していただくために懇談したい。

主な意見（○は委員の発言、●は市の発言）

○テーマ1についてビジョンP24に掲載がある「ゆるやかにつながる・ちよーどいいまち」というフレーズは抽象的なため、地域の意向・思いが込められた具体的な文言となるよう懇談会にて図ることにより、今後、まちづくりビジョンの文言修正ということは可能なのか。

- 現時点ではビジョンの修正・変更等は難しいと考える。今後、まちづくりビジョンを基に様々な検討を重ね、計画を具体化して、まちづくりプランが作成されるが、その過程において、しっかりと地域の意見を伝え反映してもらうことが重要と考える。
- 昨年度の懇談会は時間内での質問等が一部出来ない状況であったため、今年度は滞りなく懇談が出来るように進行をお願いしたい。
- 時間の制約はあるが改善できるように努めたい。

その他、意見等はなく、案のとおり承認された。

3 出席委員からの情報提供

- ・大野北第1地域包括支援センターから様々な活動が掲載された「夏号つうしん」が紹介された。地域の相談窓口としてさまざまな支援を行っているので気軽にご連絡いただきたい。
- ・にこにこ星ふちのべ商店会から第35回大野北銀河まつりについて令和5年8月5日(土)(11時から20時)・6日(日)(10時から20時)鹿沼公園にて開催する報告があった。
- ・本市における令和5年度省エネ機器更新促進補助金事業について説明があった。

4 その他

(1) 次回日程について

次回日程は8月末に開催予定であったが今回の会議において、令和5年度大野北地区まちづくり懇談会のテーマが決定したため、次回の開催は令和5年9月28日(木)午後6時30分から同会場にて開催とすることで承認をいただいた。

5 閉会

以上

令和5年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者

No.	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	小川 紳夫	大野北公民館	出
3	小野澤 行雄	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
4	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
5	岡本 誠	大野北地区自治会連合会	出
6	望月 規男	大野北地区社会福祉協議会	出
7	田加井 政勇	交通安全協会	出
8	佐藤 信夫	大野北地区老人クラブ連合会	欠
9	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
10	柿山 清美	さがみはら国際交流ラウンジ	出
11	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
12	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
13	岡本 裕子	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
14	二宮 昭夫	小学校	出
15	小林 知昭	中学校	出
16	今西 克弥	小・中学校PTA	出
17	三條 久美子	青山学院大学	欠
18	山岸 優之	桜美林学園	出
19	白石 一郎	麻布大学	欠
20	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
21	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
22	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
23	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
24	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
25	座間 均	相模原市農業協同組合淵野辺支店	欠

令和5年度 第2回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和5年7月25日(火)
午後6時30分から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題

- (1) 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について
- (2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

3 出席委員からの情報提供

4 その他

- (1) 次回日程について(予定)

日 時 令和5年9月28日(木) 午後6時30分から
場 所 大野北公民館 大会議

以 上



淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて

令和5年7月25日

大野北地区まちづくり会議



1

淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

2 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題

3 公共施設マネジメント

4 これまでの経過

5 まちづくりビジョンの概要

1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

The map shows the Enoshima Station South Exit area, including the JR Yokohama Line, National Route 16, and Enoshima Elementary School. Various public facilities are marked with colored arrows pointing to their respective photos:

- 青少年学習センター** (Youth Learning Center) - Blue arrow pointing to a building photo.
- あさひ児童館** (Asahi Children's Center) - Red arrow pointing to a building photo.
- 大野北公民館 大野北まちづくりセンター** (Ono North Community Center / Ono North Neighborhood Center) - Red arrow pointing to a building photo.
- 国際交流ラウンジ** (International Exchange Lounge) - Red arrow pointing to a lounge photo.
- 自転車駐車場** (Bicycle Parking Lot) - Red arrow pointing to a parking lot photo.
- 図書館** (Library) - Red arrow pointing to a building photo.
- テニスコート** (Tennis Court) - Green arrow pointing to a tennis court photo.
- 野球場** (Baseball Field) - Green arrow pointing to a baseball field photo.
- 白鳥池** (Shiratorii Pond) - Green arrow pointing to a pond with a swan photo.
- 児童交通公園** (Children's Traffic Park) - Green arrow pointing to a park photo.
- 鹿沼公園** (Kashino Park) - Green arrow pointing to a park area on the map.

Map labels include: 矢部駅 (Yabu Station), JR横浜線 (JR Yokohama Line), 淵野辺小学校 (Enoshima Elementary School), 淵野辺駅 (Enoshima Station), and 国道16号 (National Route 16). A scale bar indicates 200m and 1/7500.



自主企画提案事業の様子



高齢者学級の様子



子どもまつり・公民館まつりの様子



「活動コーナー」の様子



まちづくりセンターの窓口スペース

1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況



- 読書室 (200席)
読書や学習に利用されています。
パソコンの電源が取れる席もあります。

- 社会人席 (8席)
調べものコーナーにある個別席で、調査研究等に利用されています。



図書館基礎データ

- 蔵書数
約37万冊 (蔵書収容能力は約20万冊)
- 年間利用者数
約41.2万人



- じゅうたんコーナー
子どもの本のコーナーにある、じゅうたん敷きのコーナーです。
絵本の書架に囲まれ、靴を脱いでゆっくりと読み聞かせ等を楽しめます。

- YAコーナー
10代に向けたコーナーです。ニーズに応じた本の配架や参加型の企画展示などを行っています。
※平成28年度に新設





青少年に交流と活動の場を提供すると共に、青少年団体の研修、交流、青少年団体指導者の養成及び青少年の出会いとコミュニケーションを目的とした各種の自主事業を実施し、青少年の健全な育成を図るための施設です。

ホール(約250人収容可能)



【活動中の様子】
大きなホールでは、主に学生が舞台やダンス、楽器の練習などを行っています

音楽室



ロビー



館内でおもちゃの貸し出しもしています



日本語教室

外国人市民と共に生きる住み良い環境づくりを進めるために、外国人市民への支援・多言語での情報提供のほか、国際交流などの事業をボランティアとの協働により行っています。



国際交流フェスティバル



世界のひろば



相模原市立児童館条例(昭和39年相模原市条例第52号)に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置しています。

施設内には遊戯室や図書室などがあります。

遊戯室

遊具などで仲良く遊んでいます。
特にソフトブロック(写真)や卓球が人気です。



図書室

マンガや児童書をはじめ、
DVDを見ることもできます



1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況（鹿沼公園）

軟式野球場
軟式野球場

テニスコート

駐車場

保存機関車

保存機関車

貸出ミニカート
貸出ミニカート

児童交通公園

水生植物池
水生植物池

南側入口

築山からの眺望

白鳥池

遊具広場

遊具広場

1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況（鹿沼公園）

・ 児童交通公園の様子



・ 四季が感じられる



・ 大野北銀河まつりの様子



・ 走り方教室の様子



・ ヘキサスロン教室の様子



1 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

2 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題

3 公共施設マネジメント

4 これまでの経過

5 まちづくりビジョンの概要

◆まち(地域全体)

(1) 人口

「大野北地区は市内 番目に人口(約6万人)が多い地区」
複数の大学のキャンパスがあり、新しいマンションも建設され
生産年齢人口(15～64歳)の比率が高い地区です。

将来的には少子高齢化、人口減少が推計されています。

(2) 土地利用

「商業地としての発展や良好な住環境の形成を目指している地域」
実際は住居系の土地利用が多く、

商業用地としての土地利用率は低い状況です。

(3) 駅利用者

「淵野辺駅は、市内で 番目に鉄道利用者が多い駅」

交通量が増える早朝は、歩行者と自転車が錯綜する状態のため、
安全で快適な通行環境が求められています。

◆鹿沼公園の現状

整備から50年以上が経過し、**施設の老朽化や、シンボルである白鳥池は、水が汚れたり池の底に土砂がたい積したりと、池としての魅力が減少しています。**

また、**樹木の巨木化及び老木化が進み、枝の落下や見通しの悪化などの課題が生じています。**

さらに、自転車の通り抜けや**公園利用者以外の駐車場の不適切利用**なども課題となっています

どんな公園になったら、
みんなが喜ぶかな？



◆公共施設

駅に近接していることもあり、
どの施設もとても多くの方が利用しています。

どんな公共施設になったら、
みんなが喜ぶかな？



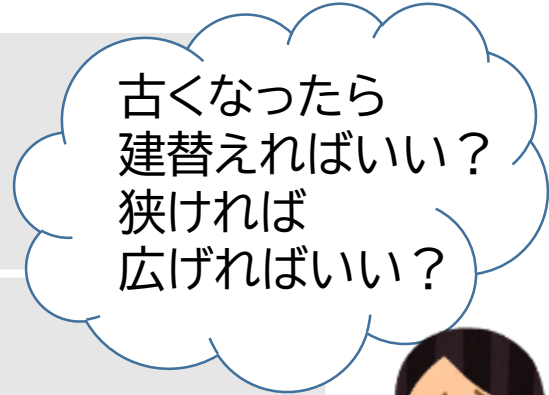
築40年以上が経過しており、
各施設の機能については、
新たなニーズへの対応ができておらず、
施設・設備等の不具合が断続的に発生しており、
施設の改修・更新（建て替え）
が必要な時期を迎えています。

部屋名	午前	午後	夜間
3F 工作室	ありはく	おたけや 和歌山	おたけや
中会議室	藤子家活動センター	藤子家	藤子家
和室		やまがしや	藤子家
小会議室1	71.973	71.973	71.973
小会議室2	71.973	71.973	71.973
2F 料理実習室	あまののち	あまののち	あまののち
茶室		アザハライ	あまののち
保育室			
1F 大会議室			
コミュニティ室			



各施設の主な課題

図書館	施設・設備の老朽化、図書館資料収容スペースの充実、図書館で利用できるサービスを知ってもらう、誰もが居心地の良い環境の整備(滞在型利用)など
大野北公民館	施設・設備の老朽化、高い稼働率を踏まえた諸室の確保、利用者の高齢化・固定化
大野北まちづくりセンター	施設・設備の老朽化、窓口スペースの確保
青少年学習センター	施設・設備の老朽化、多様化する活動に応じた諸室の確保、借地料
さがみはら国際交流ラウンジ	認知度の向上、国籍を問わず市民が集う事業スペースの確保、賃料
あさひ児童館	子どもの居場所としての環境の充実(外遊びの場の確保等)
自転車駐車場	施設・設備の老朽化、子育て世代や高齢者の駐車ニーズへの対応



1 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

2 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題

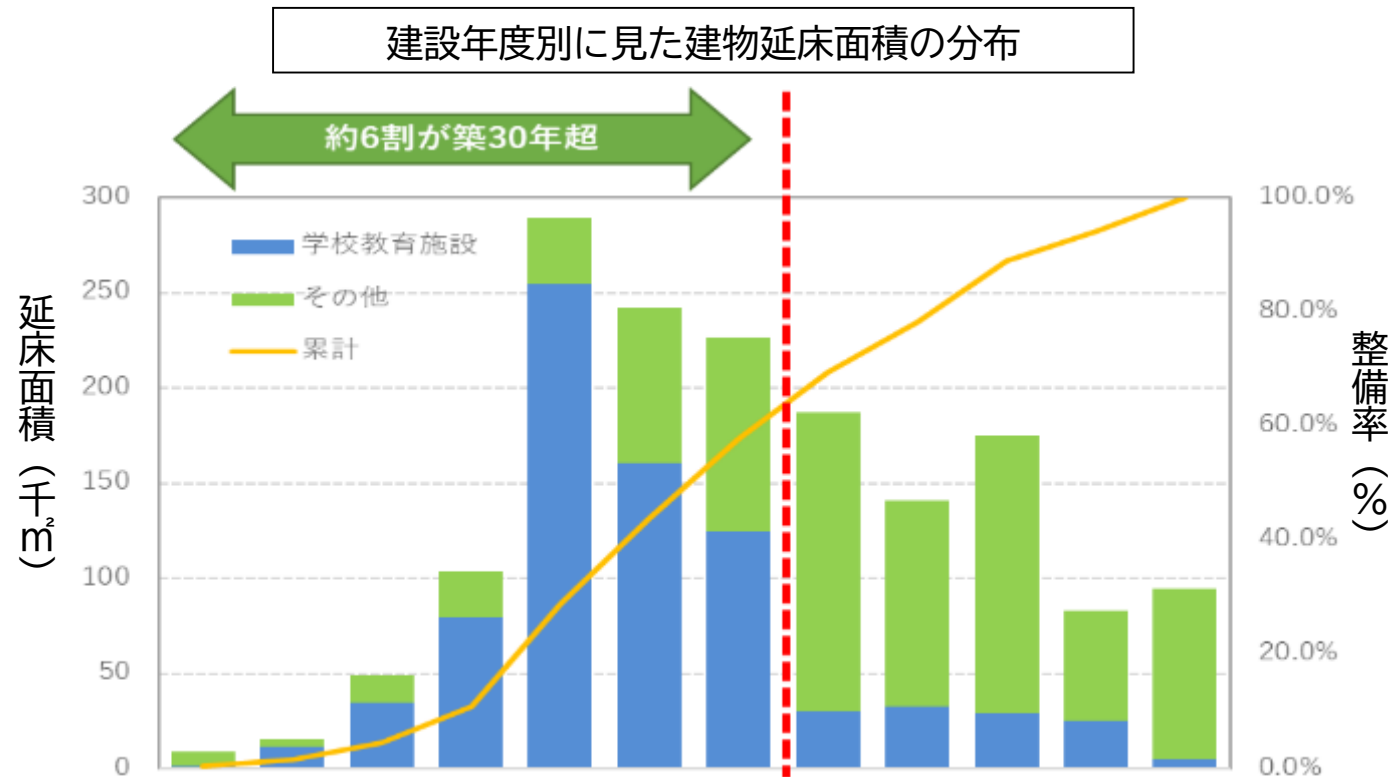
3 公共施設マネジメント

4 これまでの経過

5 まちづくりビジョンの概要

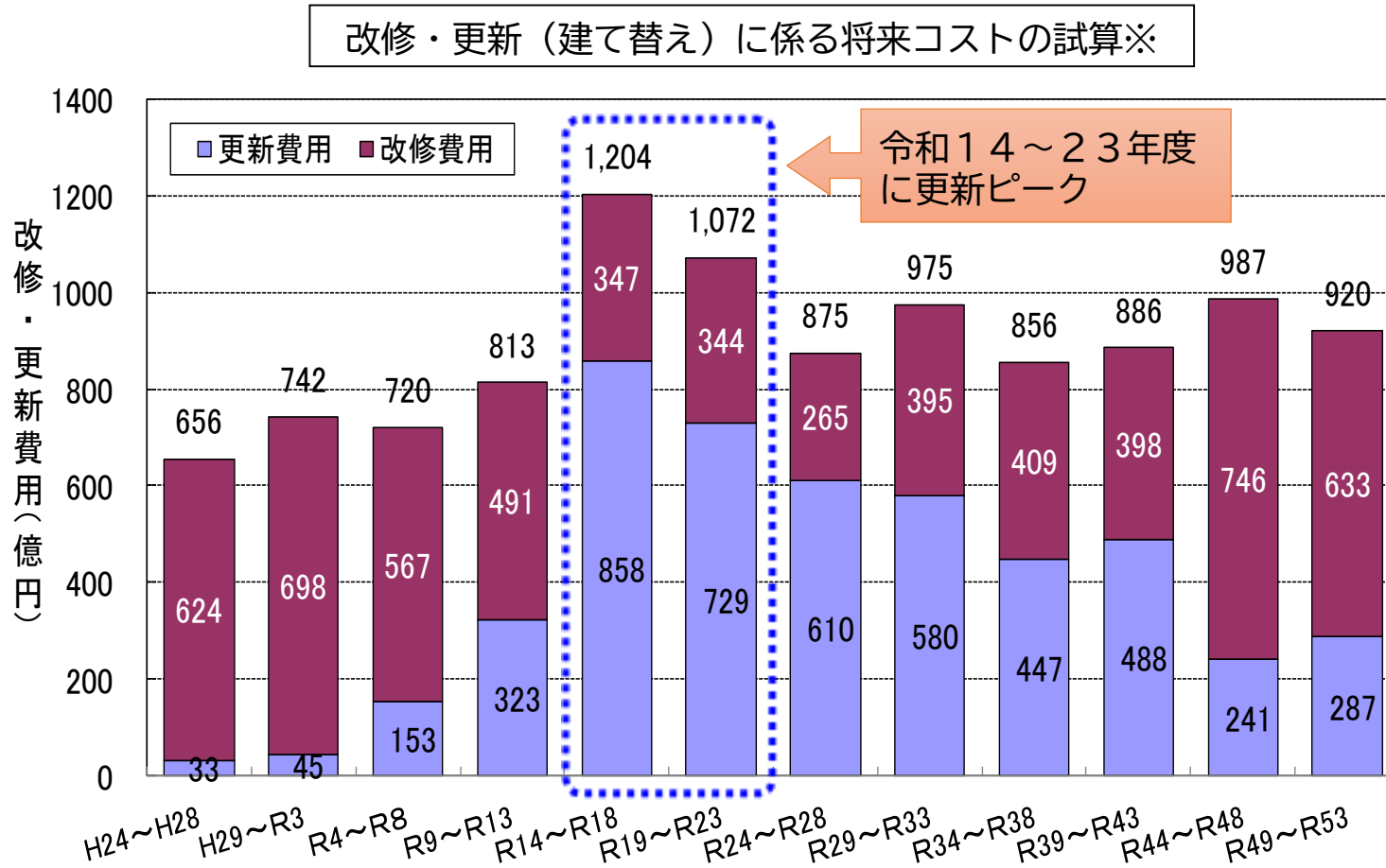
① 公共施設が老朽化している

相模原市には公共施設が約760施設あります。
 多くが昭和40年代～昭和50年代に建てられ、
 約6割が築30年を超えるなど、老朽化が進んでいます。



②改修や建て替えにはお金がかかる！

今後、老朽化した公共施設の改修や建て替えに、多くのお金がかかることが見込まれています。



※30年目で改修、60年目で建て替えを行った場合

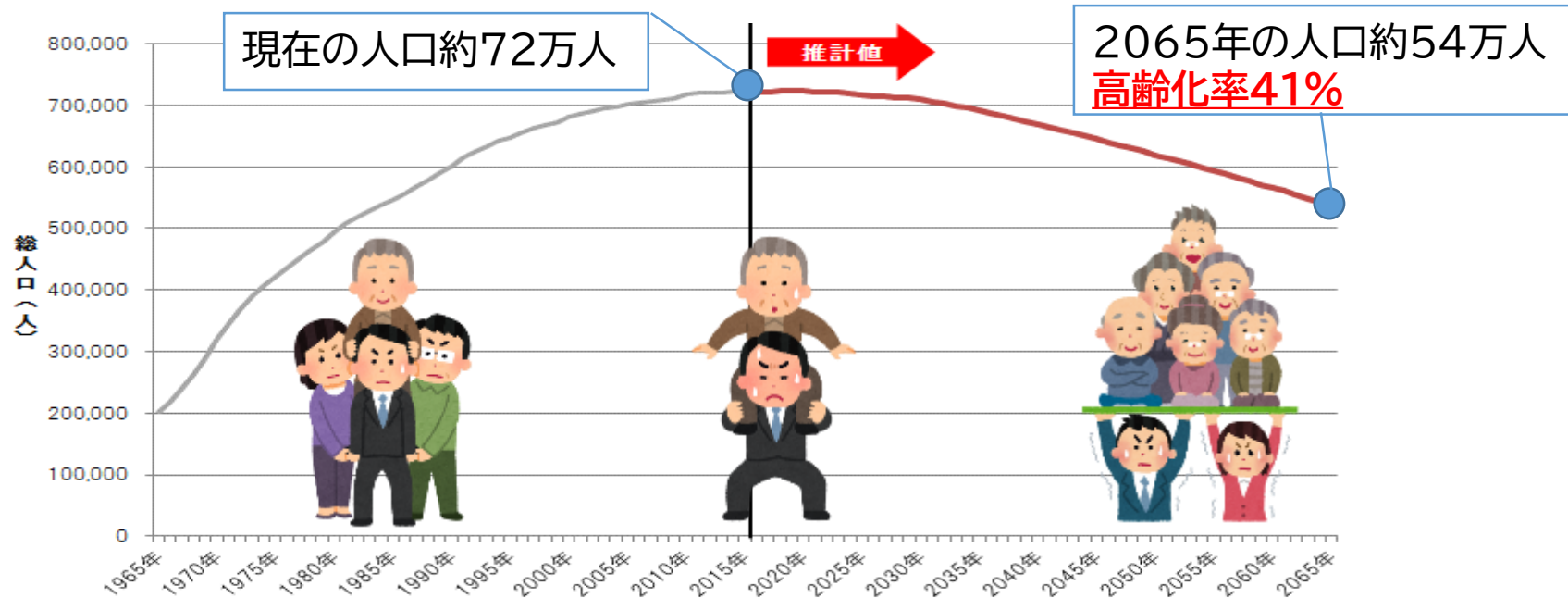
これだけのお金を確保できるのかな？



出典：相模原市公共施設白書 (平成24年3月)

③お金が入保できない！？

今後、相模原市は人口減少、少子高齢化が進みます。人口減少、少子高齢化が進むと、税収が減る一方、市民の健康や福祉に使うお金が増え、公共施設に使えるお金が入保できなくなります。

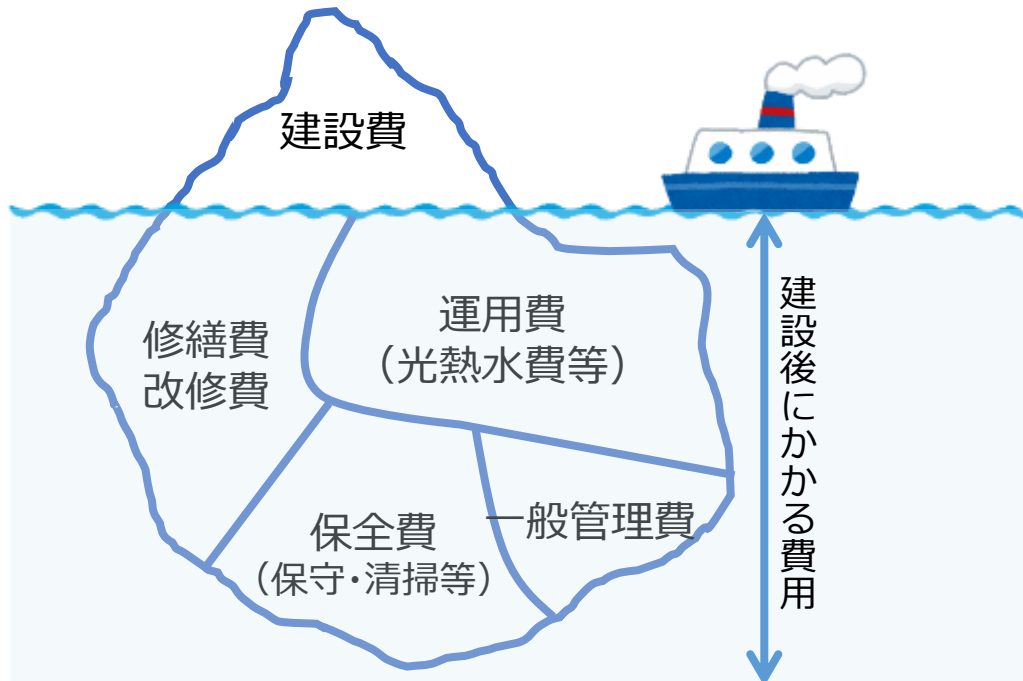


出典：2015年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計（平成30年3月）

④公共施設は維持するだけでもお金がかかる

一度、公共施設をつくると、使わなくなるまでの間、建物の修繕・改修のお金や、電気代や水道代など、施設の管理・運営のために、建設にかけた何倍ものお金が必要となります。

適切な維持管理ができないと…



ライフサイクルコスト概念図



給水管の錆び



外壁剥離・鉄筋爆裂

安心して使えないし、ボロボロな施設だと行きたくなくなるわ…



① 公共施設が老朽化している

② 改修や建て替えにはお金がかかる

③ 人口減少、少子高齢化が進むと、改修や建て替えに使えるお金の確保ができない

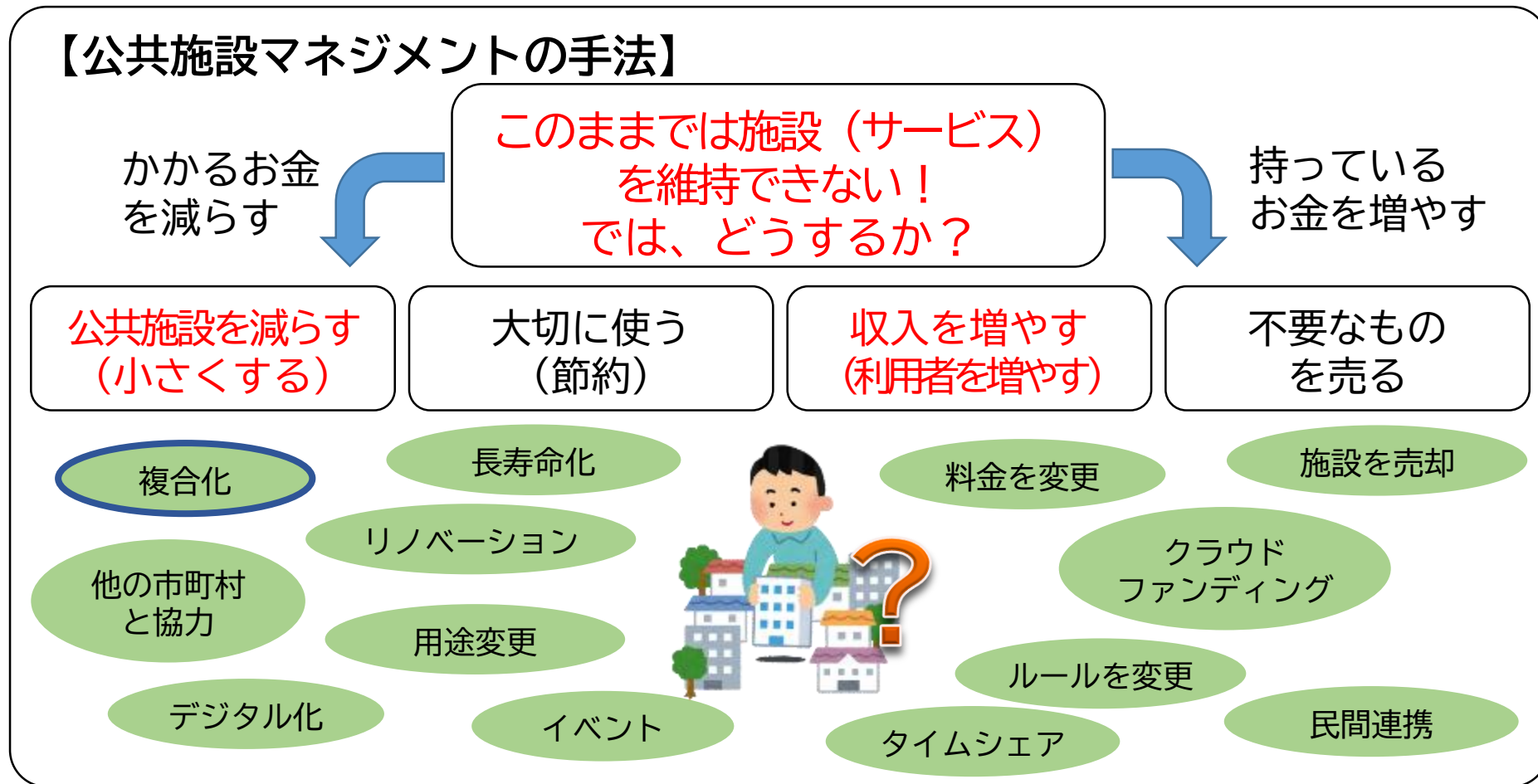
④ 公共施設は維持するだけでもお金がかかる



では、どうするか？



これまでの公共施設の役割や使い方を見直し、
様々な手法やアイデアで、工夫しながら公共施設を管理する
「公共施設マネジメント」の取組が必要！



1 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

2 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題

3 公共施設マネジメント

4 これまでの経過

5 まちづくりビジョンの概要

4. これまでの経過

平成20年5月

大野北地域 まちづくり提言

平成29年12月

淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）公表

平成31年3月

市民検討会、有識者協議会 立ち上げ

～

第1回～第15回 市民検討会の開催

令和3年12月

〈施設や機能の配置の方向性〉
「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。」

令和4年3月～8月

第16回～第22回 市民検討会の開催

9月9日・10日

オープンハウスの実施

9月～11月

第23回・第24回 市民検討会の開催

令和5年2月

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン
～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～（案）」を公表・パブリックコメント

オープンハウス型説明会・市民説明会の開催

第25回市民検討会の開催（最終回）

令和5年3月

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン
～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」を策定



◆市民検討会の様子

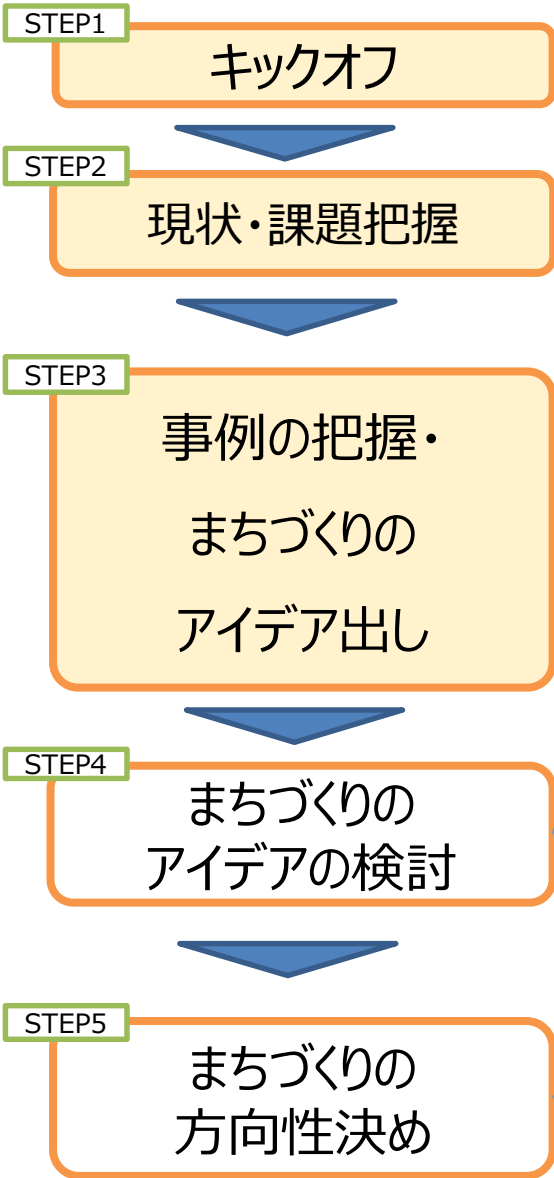
平成31年から約4年間に渡り
淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、
市民の皆さんと様々な議論を重ねてきました。

どんな人がメンバーだったの？

普段施設や公園を利用している人
大学生のお兄さん・お姉さん
自治会の代表の人
公募で選ばれた市民の人
支援学校の先生

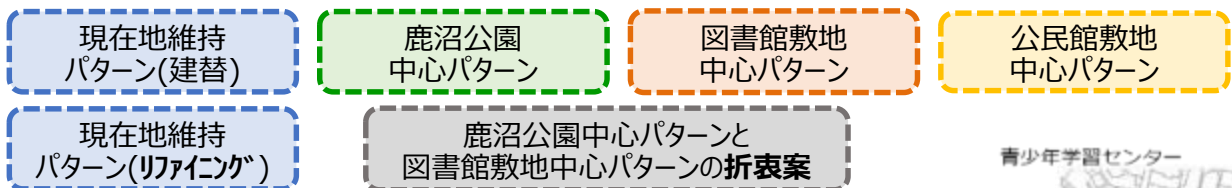


◆市民検討会の様子（検討した内容の例）



施設や機能の配置・組み合わせについて、ブロックを使用したグループワークで検討。

18の検討案が出された



鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。



1 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

2 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題

3 公共施設マネジメント

4 これまでの経過

5 まちづくりビジョンの概要

令和5年3月には、市民検討会等で検討してきた結果を踏まえ、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン」を策定しました。

◆まちづくりの基本方針

「テーマ」 人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のある
ちょうどいいまち 淵野辺

「コンセプト」



公園のようなまち
～Parkful～

⇒ 文化を継承し、自然を感じる公園のような「まち」を目指します。



歩いて楽しめるまち
～Walkable～

⇒ 安全・安心で、健康的に歩いて楽しめる「まち」を目指します。



住みやすいまち
～Livable～

⇒ やすらぎとにぎわいが共存する、住みやすい「まち」を目指します。

まちづくりビジョンのイメージ図

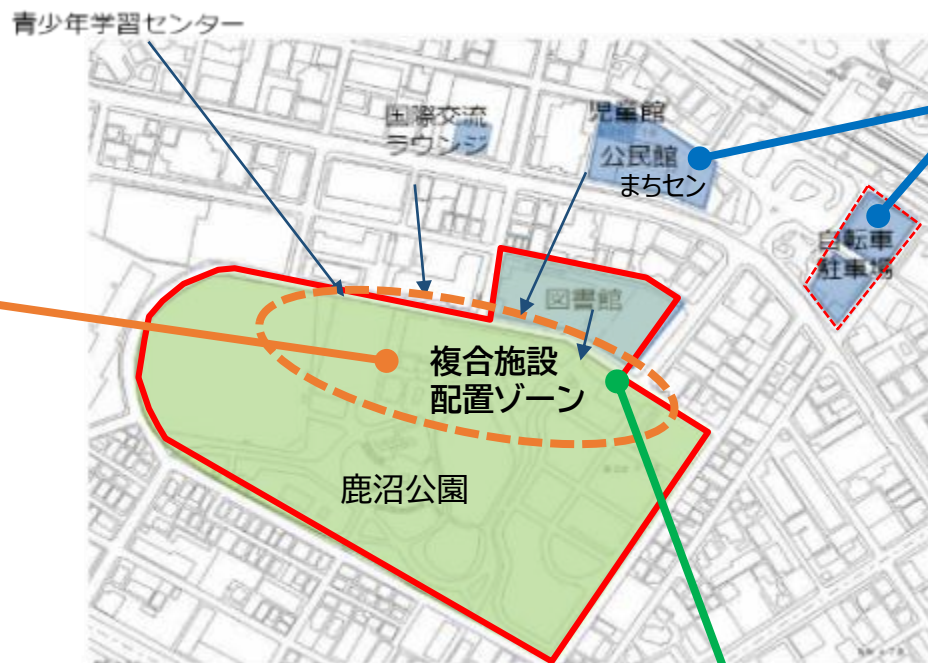
【複合化対象施設】

以下の6施設を集約・複合化します。

- 図書館・視聴覚ライブラリー
- 大野北公民館
- 大野北まちづくりセンター
- 青少年学習センター
- あさひ児童館
- さがみはら国際交流ラウンジ

【コンセプト】

目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設



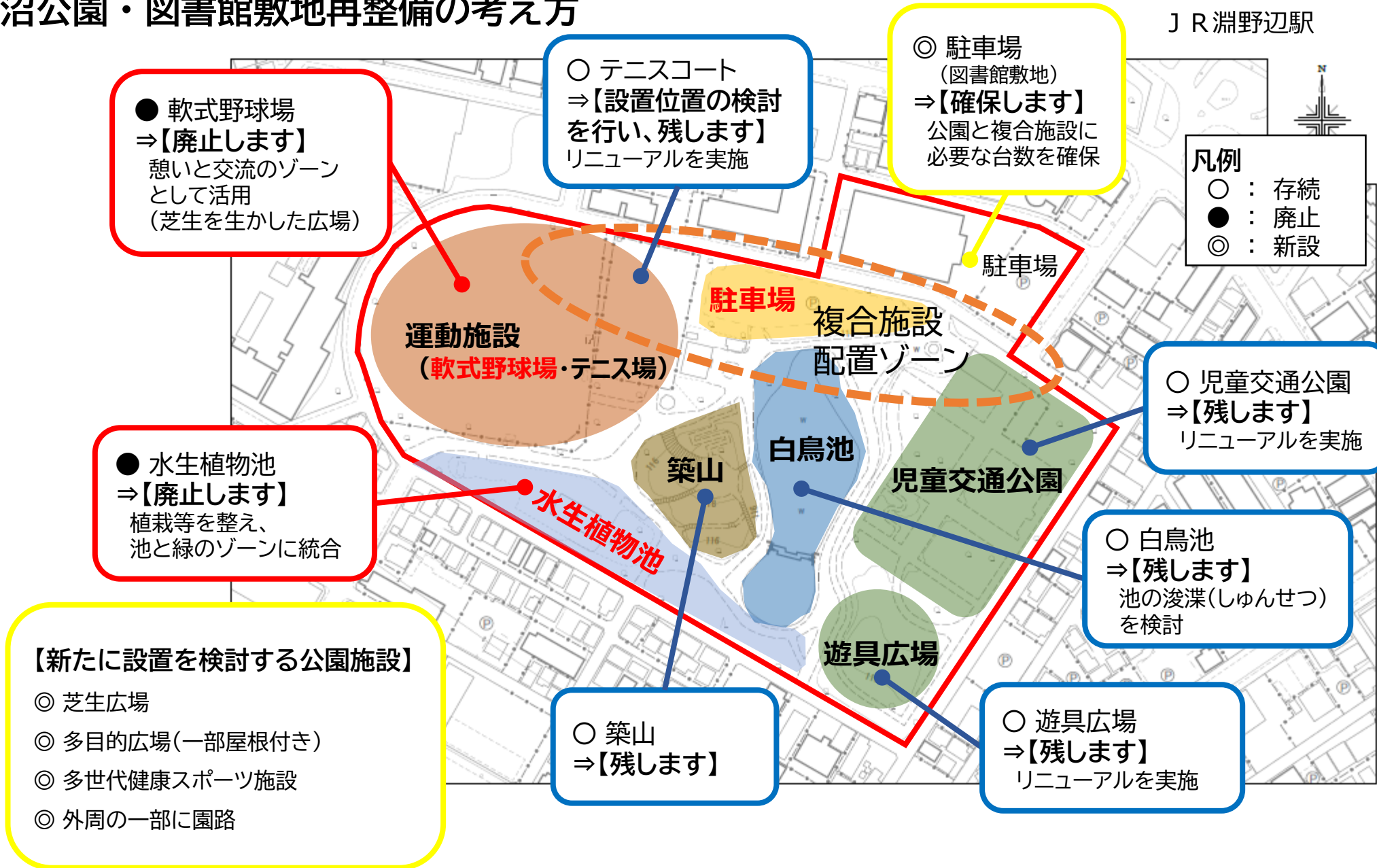
【駅前市有地等】

- 駅前での機能維持を前提に再整備（自転車駐車場）
- 自転車駐車場再整備での活用（まちセン・公民館等敷地）
- 売却・貸付け等による財源確保

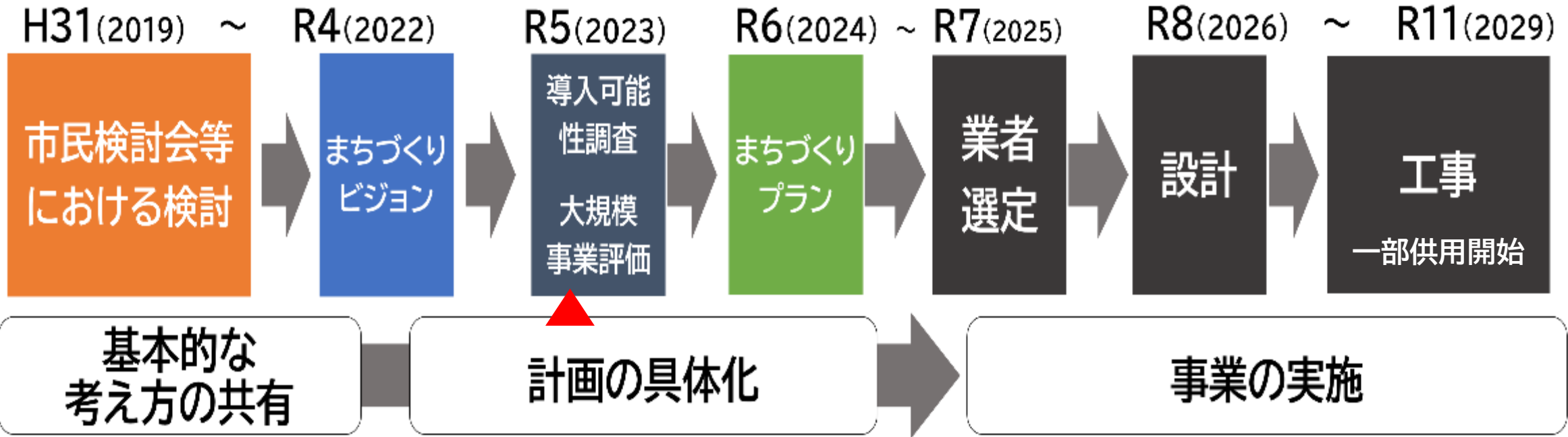
【敷地の一体的な利用】

複合施設整備に伴う鹿沼公園への影響を抑えるため、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して再整備を行います。

鹿沼公園・図書館敷地再整備の考え方



今後のスケジュール



次世代 ふちのベ ニュース

Vol.22

淵野辺駅南口周辺の公共施設集約・複合化による再整備に関するサウンディング型市場調査が始まりました！

令和5年3月に策定した「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」(以下「まちづくりビジョン」といいます。)に基づき、鹿沼公園及び図書館敷地を一体的に利用し、淵野辺駅南口周辺地域に分散している公共施設の集約・複合化による再整備、鹿沼公園リニューアルを行うことについて検討を進めていくに当たり、民間事業者の皆さまから、事業内容・範囲、事業スキーム等の事業の具体化に関するアイデアや要望をいただくことを目的に、サウンディング型市場調査を実施しています。

サウンディング型市場調査に係る現地説明会（見学会）を実施しました！

6月13日(火)に、市立図書館で「淵野辺駅南口周辺の公共施設集約・複合化による再整備に関するサウンディング型市場調査現地説明会(見学会)」を実施しました。

説明会では、複合化対象施設の状況やまちづくりビジョンの内容について説明した後、参加された民間事業者からの質疑応答を行いました。

また、説明会後は、現地見学会を実施し、鹿沼公園内や複合化対象施設を見学しました。



～サウンディング型市場調査の流れ～

- ① 現地説明会(見学会)の開催【令和5年6月13日(火)実施】
- ② 事前ヒアリングシートの配布、提出受付
- ③ 個別対話の実施【令和5年8月1日(火)～8月9日(水)予定】
- ④ サウンディング結果の公表【令和5年10月頃】

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、民間事業者からどんなアイデアが出てくるか楽しみだね♪



相模原市
マスコットキャラクター
『さがみん』



青少年学習センター利用者懇談会にて意見交換をしました！

6月18日(日)に青少年学習センター講習室で開催された「青少年学習センター利用者懇談会」で、青少年学習センターの利用団体の皆さんと意見交換を行いました。

当日は、まちづくりビジョンの内容について説明した後、利用団体の皆さんから、現在青少年学習センターを利用するにあたっての課題や複合施設に求める機能等について、ご意見等をいただきました。

～主な意見～

- 音を出す活動が多く、防音の部屋が少ないのではないかな。
- 発表の機会が欲しいという要望が多いため、公園内でその様なことができるスペースがあると良い。
- ホールについては、機材を自分で操作できるという、今の特徴は残してほしい。

大野北中学校にて出前授業を開催しました！

大野北中学校から依頼をいただき、5月18日(木)に、1年生(6クラス、240名)を対象に、出前授業を実施しました。

「わがまち」淵野辺のまちづくりを考えよう」をテーマに、公共施設マネジメントの考え方やまちづくりビジョンの概要について説明した後、各クラスに分かれて、「こんなまちになったらいいな」、「こんな公園になったらいいな」、「こんな施設になったらいいな」をテーマにグループワークを行いました。グループワークでは、カードゲームや模造紙等を活用しながら様々なアイデアを考えていただきました。



～主な感想～

- まちのことについて色々考えている人がいることを知りました。自分もまちのことについて考えていきたいです。
- これからの淵野辺を色々な人が楽しんで生活できる淵野辺にしていきたいと思った。
- このことを人に伝えたり、できることを考えたりして、生活していきたいと思った。

おおのきた公民館まつりにて子ども向けオープンハウスを実施しました！

大野北公民館利用サークル協議会から依頼をいただき、6月25日(日)に「第42回おおのきた公民館まつり」の会場内で、「おおのきた公民館まつり子ども向けオープンハウス」を実施しました。

会場に設置したパネルに基づき、まちづくりビジョンについて説明し、「こんなことできたらいいな、こんな場所があったらいいな」といったアイデアをいただきました。設置したパネルが子どもたちのアイデアの付箋でいっぱいになりました。



～主な意見～

- 駄菓子屋やパン屋さんがあると良いな。
- 長い滑り台やブランコ、アスレチックが公園に欲しい。
- ゲームができたり、トランポリンやボールプール等、雨の日でも遊べる場所が施設の中に欲しい。

子どもたちから沢山のアイデアをいただいたよ！
みんなが来たくくなるようなまち、公園、施設になったら良いな♪



「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/machitsukuri/1015393/index.html>



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は…

【公園について】 公園課 (電話：042-769-8243)

【まちづくりについて】 都市計画課 (電話：042-769-8247)

【公共施設について】 生涯学習課 (電話：042-769-8287)

E-mail : jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

これからも淵野辺のまちづくりについて、ふちのベニユースを通して情報発信していきます。ぜひご覧ください♪



次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン ～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～ 概要版



第1章 ビジョン策定の基本的な考え方及び位置付け 【P4～23】

1-1 ビジョン策定の基本的な考え方 【P4】

本ビジョンは、淵野辺駅南口周辺における公共施設の再整備及び持続可能なまちづくりに向けた取組の方向性を示したものです。主に、次の3点を策定に当たっての基本的な考え方としています。

(1) 市民意見を踏まえたビジョン策定

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについては、次世代に引き継がれる持続可能な地区としての発展を見据え、これまで地域住民や地域団体の代表者で構成される大野北地区まちづくり会議や大野北地区まちづくり懇談会の場で、多くの意見をいただいたほか、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会(以下「市民検討会」という。)及び同有識者協議会において、様々な議論を積み重ねてきました。こうした経過を踏まえ、平成29年12月に公表した淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)(以下「H29基本計画案」という。)の内容を見直し、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりを進めるための新たなビジョンとして、第2章から第6章までの内容に反映しました。

(2) 民間提案の活用

本ビジョン策定後、民間事業者との対話等を行い、より魅力的、効果的、効率的なアイデアについては、柔軟に取り入れながら、取組内容の具体化を図ります。

(3) 将来にわたる市の財政負担の軽減

公共施設の再整備後に発生する跡地等(駅前市有地)について、売却や貸付け等の手法により活用することや、施設の整備・運営における民間活力の導入により、費用負担を極力少なくし、将来の財政負担の軽減を図ります。



1-2 ビジョンの位置付けと関連計画の概要 【P5～9】

「相模原市総合計画」を上位計画とし、同計画に示す将来像である「潤いと活力に満ち 笑顔と希望があふれるまち さがみはら」の実現を目指し、「相模原市都市計画マスタープラン」、「相模原市パークマネジメントプラン」、「第2次相模原市図書館基本計画」、「公共施設の保全・利活用基本指針」等の関連計画との整合を図っています。

1-3 淵野辺駅南口周辺の現状と課題 【P10~17】

(1) まち(地域全体)の現状と課題

ア 人口

大野北地区は市内3番目に人口(約6万人)が多く、複数の大学のキャンパスの設置、周辺でのマンション建設の集中により、生産年齢人口比率の高い、ポテンシャルが高い地区です。将来的には少子高齢化、人口減少が推計されています。

イ 土地利用

商業地としての発展や良好な住環境の形成を目指している地域です。実際は住居系の土地利用が多く、商業用地としての土地利用率は低くなっており、また、淵野辺駅南口周辺は、公共施設が多く設置されています。

ウ 駅利用者

淵野辺駅は、市内で3番目に鉄道利用者が多く、また、市内で4番目にバス利用者が多い駅です。交通量が増える早朝は、歩行者と自転車が錯綜する状態で、安全で快適な通行環境が求められています。

エ まち(地域全体)の課題

淵野辺駅南口周辺の公共施設や公園、商店街、大学などの地域の特徴を生かし、多様な世代の方たちが将来にわたって住み続けたいくなるような魅力的なまちづくり、次世代に引き継がれる持続可能な地区としての発展を図る必要があります。

(2) 鹿沼公園の現状と課題

整備から50年以上が経過し、施設の老朽化や、シンボルである白鳥池は土砂等の堆積・水質の汚濁が進行し、池としての魅力が減少しています。また、樹木の巨木化及び老木化が進み、枝の落下や見通しの悪化などの課題が生じています。さらに、自転車の通り抜けや公園利用者以外の駐車場の不適切利用なども課題となっています。

(3) 公共施設の現状と課題

駅に近接していることもあり、総じて利用者が多い状況です。築40年以上が経過しており、各施設の機能については、新たなニーズへの対応ができておらず、施設設備等の不具合が断続的に発生し、施設修繕費用も累積するなど、施設の改修・更新の時期を迎えています。

1-4 これまでの取組状況 【P18~23】

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについては、これまで地域住民や地域団体の代表者で構成される大野北地区まちづくり会議や大野北地区まちづくり懇談会の場で、多くの意見をいただいたほか、市民検討会及び有識者協議会において、様々な議論を積み重ねてきました。

また、検討の節目を捉え、図書館協議会や各施設の運営協議会等において、検討状況を報告するとともに、オープンハウスやアンケート調査を実施し、多くの意見をいただきました。

こうした経過を踏まえ、H29基本計画案の内容を見直しし、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりを進めるための新たなビジョンとして、第2章以降の内容に反映しました。

第2章 目指すべき将来のまちの姿 【P24~26】

2-1 将来像(テーマ) 【P24】

「図書館と公園」のある“淵野辺”のまちで過ごす人達が、多くの人々が行き交うにぎわいの中を、健康的に歩いて楽しみ、多様な交流や活動を育みながら、人・活動・居場所がゆるやかにつながり、ゆとりある居心地の良い、市民が誇れる淵野辺らしい「ちょうどいいまち」を、淵野辺駅南口周辺のまちづくりが目指していく姿とし、次のとおりまちの将来像(テーマ)を設定します。

将来像(テーマ)

人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のある
ちょうどいいまち 淵野辺

2-2 コンセプト 【P25~26】

将来像(テーマ)に即した、市民が誇れる淵野辺らしい「ちょうどいいまち」の実現に向けて、次のとおり3つの視点から構成するまちづくりのコンセプトを設定し、みんなにやさしいまちになるよう、一体的かつ段階的なまちづくりに取り組みます。

「コンセプト」

3つの視点

視点1

公園のようなまち ~Parkful~

⇒文化を継承し、自然を感じる公園のような「まち」を目指します

視点2

歩いて楽しめるまち ~Walkable~

⇒安全・安心で、健康的に歩いて楽しめる「まち」を目指します

視点3

住みやすいまち ~Livable~

⇒やすらぎとにぎわいが共存する、住みやすい「まち」を目指します

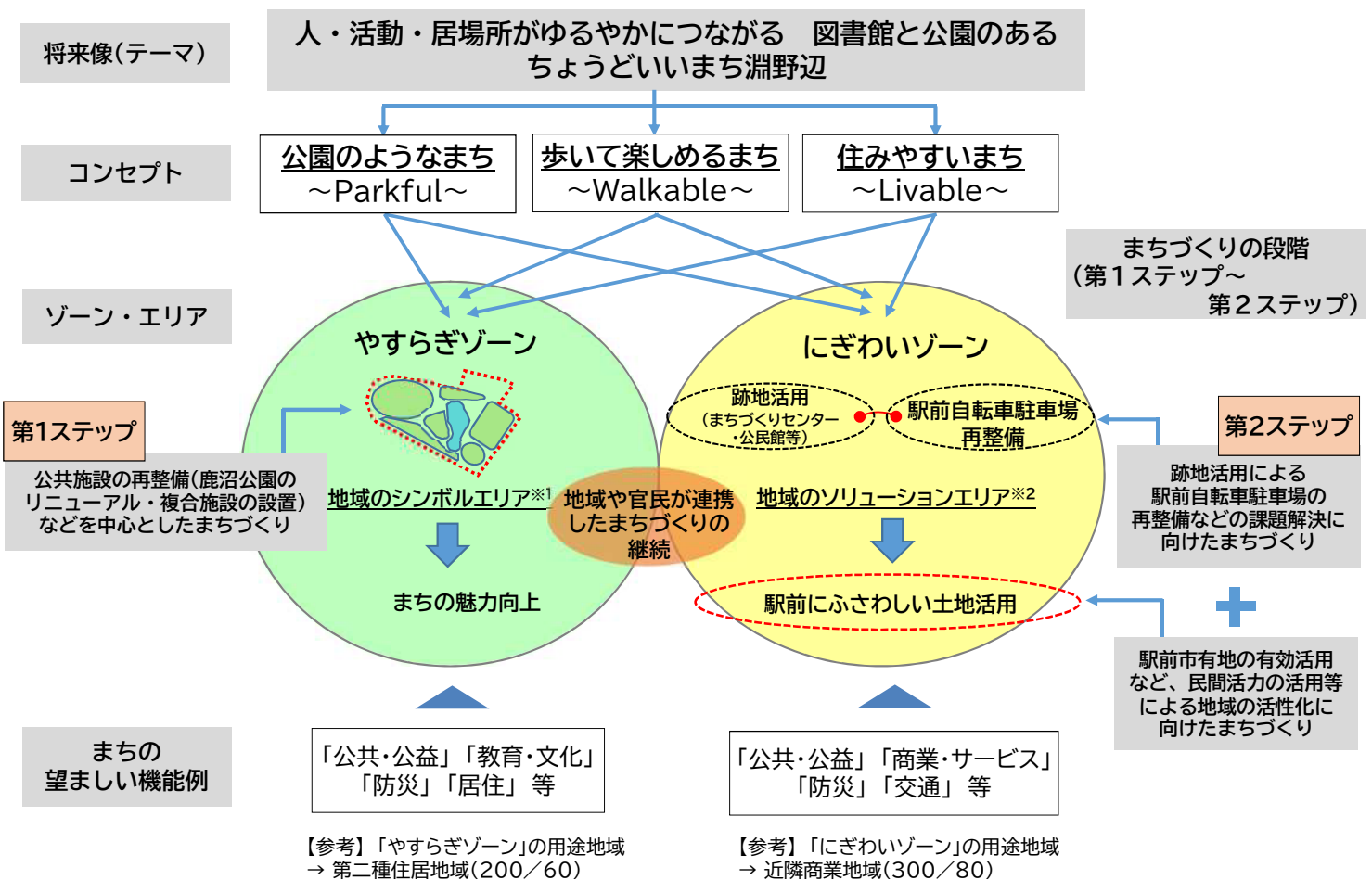
第3章 基本方針 【P27~39】

3-1 まちづくりの基本方針 【P27~35】

(1)ゾーン・エリア

将来像(テーマ)及びコンセプトを踏まえつつ、魅力ある地域のシンボルエリアの形成及びまちの「やすらぎ」と「にぎわい」の共存を目的として、淵野辺駅南口周辺地域について、次のとおりゾーン・エリアを設定し、それぞれまちづくりの考え方を示します。

< 「目指すべき将来のまちの姿」と「まちづくりの基本方針」の概念図 >



(2)まちづくりの取組の方向性等

ゾーン・エリアの設定等の考え方を踏まえ、次世代のためのまちづくりの取組の方向性等を示します。

まちづくりの取組の方向性等

ア “公園のようなまち”を実現するためのまちづくりの取組の方向性

- (ア)鹿沼公園のリニューアルによる魅力向上
- (イ)鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用した複合施設の整備

まちづくりの取組

- まちづくりや文化・交流の拠点として、公共施設の再整備(鹿沼公園のリニューアル・複合施設の設置)を一体的に行い、施設の魅力や機能の向上を図ります。
- 淵野辺駅南口周辺地域の公共施設を集約・複合化し、中央図書館機能を備えた市立図書館を中心とした複合施設として再整備を行います。
- 民間活力の活用による公共施設の再整備や管理運営により、財政負担の軽減を図ります。

イ “歩いて楽しめるまち”を実現するためのまちづくりの取組の方向性

- (ア)安全・安心で歩きたくなる空間づくり
- (イ)良好な景観形成による魅力的な空間づくり

まちづくりの取組

- 跡地活用や民間事業者等との連携による駅前自転車駐車場の再整備など、自転車利用環境の整備による駅利用者の安全性・利便性の向上を図ります。
- 十分な歩道やオープンスペース等の確保、生活サービスや休憩・交流機能等の維持誘導、魅力的な空間創出のための社会実験など、跡地等を含めたパブリック空間の活用により、官民連携のまちなかづくりを促進します。
- 淵野辺駅南口から鹿沼公園にかけて、通りと調和した緑化や景観に配慮した案内板等を設置するとともに、新たな複合施設が通りの景観のシンボリック役割を果たすよう、良好な景観形成に取り組みます。

ウ “住みやすいまち”を実現するためのまちづくりの取組の方向性

- (ア)地域や官民が連携した参加と協働のまちづくり
- (イ)将来に過度な負担を残さないための財政負担の軽減の取組

まちづくりの取組

- にぎわいのある駅前にふさわしい土地活用を図るため、地域や民間のニーズを踏まえ、土地の有効活用に伴うまちづくりのための条件整備等の検討に取り組みます。
- 行財政構造改革プランで示した本事業に係る見直し効果額以上の財源確保を目標とし、財政負担の軽減を図るため、あらゆる可能性を検討するなど、最も効果的な財源確保の検討に取り組みます。

(3)まちづくりの進め方等

【第1ステップ】

公共施設の再整備(鹿沼公園のリニューアル・複合施設の設置)などを中心としたまちづくり

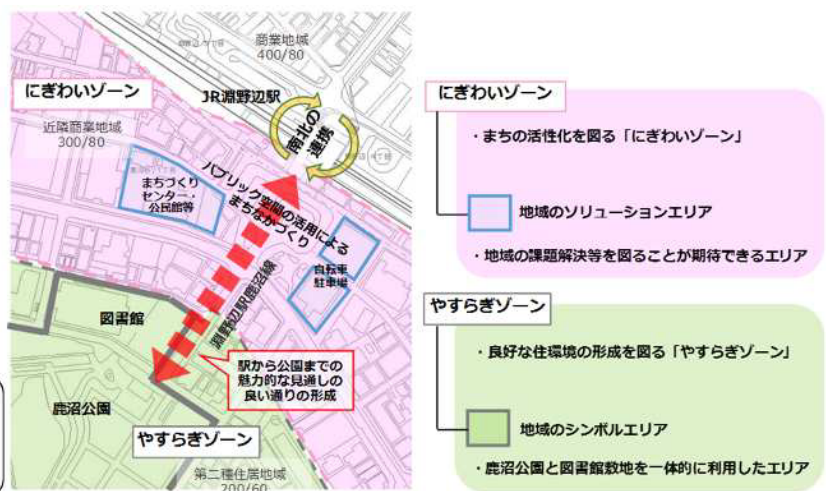
公共施設の再整備(鹿沼公園のリニューアル・複合施設の設置)後、第2ステップへ移行

【第2ステップ】

跡地活用による駅前自転車駐車場の再整備などの課題解決に向けたまちづくり

駅前市有地の有効活用など、民間活力の活用等による地域の活性化に向けたまちづくり

<淵野辺駅南口から鹿沼公園までのゾーン・エリア等の詳細図>



3-2 鹿沼公園リニューアルの基本方針 【P36~37】

(1)コンセプト

「～集う、動く、遊ぶ、学ぶ、憩う～多彩な活動・多様な人々の結び目となる公園」

(2)方針

ア リニューアルエリア

公園全体にわたるものとし、各公園施設の存続、廃止、新設等を「5-1 公園施設のリニューアルの方向性」の中で検討します。

イ リニューアルに当たり、求められている機能

主に樹木や池、築山などで構成される憩いの空間の持続的維持、休憩できるスペースや多世代が交流できるような広場空間の設置を検討します。

ウ リニューアルの留意点

変化の度合いをおさえ、懐かしさや思い出を感じられることで、シビックプライドを高められる空間づくりを検討します。

エ 主な公園施設のリニューアル

公園の樹木については、適切な間伐や伐採の実施により生育環境を整えるとともに、新たな樹木を植えることで、樹林全体の更新を図っていくことを検討します。

児童交通公園については、機能を維持し、引き続き子どもが遊びながら交通ルールを学べるようリニューアルを検討します。

運動施設については、配置の見直しや市内の他の公園との役割分担などを検討します。

オ 複合施設

鹿沼公園の魅力向上に資する公園施設として配置、各公園施設の機能が互いに高められることを重視して配置場所を検討、図書館敷地への既存公園施設の移転・展開により、公園内にオープンスペースの確保を検討します。

カ 公園の防災機能

公園に求められる防災機能や施設について、地域防災計画との整合を図りながら検討します。また、雨水の貯留浸透機能対策とともに、雨水の利用についても検討します。

3-3 公共施設再整備の基本方針 【P38~39】

「コンセプト」

目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設

(1)複合施設と公園エリアのつながりによる連続性・一体性の確保

(2)本に囲まれ
誰もが気軽に利用できる
ゾーニングや動線の検討

活動 にぎわい 静か

(4)共用部分の集約化等
による十分かつコンパクト
な施設規模

(5)中央図書館としての
機能の充実

(7)ユニバーサル
デザインや脱炭素
社会の実現を見据
えた施設・設備

(3)ゆるやかにつながり、
新たな学び・活動や交流
(連携)を生み出す拠点の
整備

(6)スペースの有効活用
による新たなニーズへの
対応

複合化対象施設

- 図書館・視聴覚ライブラリー
- 大野北公民館
- 大野北まちづくりセンター
- 青少年学習センター
- さがみはら国際交流ラウンジ
- あさひ児童館

第4章 土地活用 【P40～41】

4-1 土地活用の取組の方向性 【P40】

(1) 駅前自転車駐車場の再整備に向けた活用検討

今後の検討課題である駅前自転車駐車場の老朽化等の対応として、移転又は現地建替えによる再整備の検討に取り組む必要があることから、大野北まちづくりセンター・大野北公民館及びあさひ児童館の跡地は、駅前自転車駐車場の移転又は仮設用地としての土地活用を検討します。

(2) 駅前市有地の有効活用に向けた活用検討

駅前自転車駐車場の再整備後の駅前市有地は、売却や貸付け等による活用検討において、地域の様々なニーズ等も踏まえながら、まちの魅力や価値を伸ばしていくための長期的な視点に立った財源確保の取組を検討するなど、将来世代も念頭に置いた駅前につながる土地活用を図ります。

4-2 跡地活用等の検討の進め方 【P41】

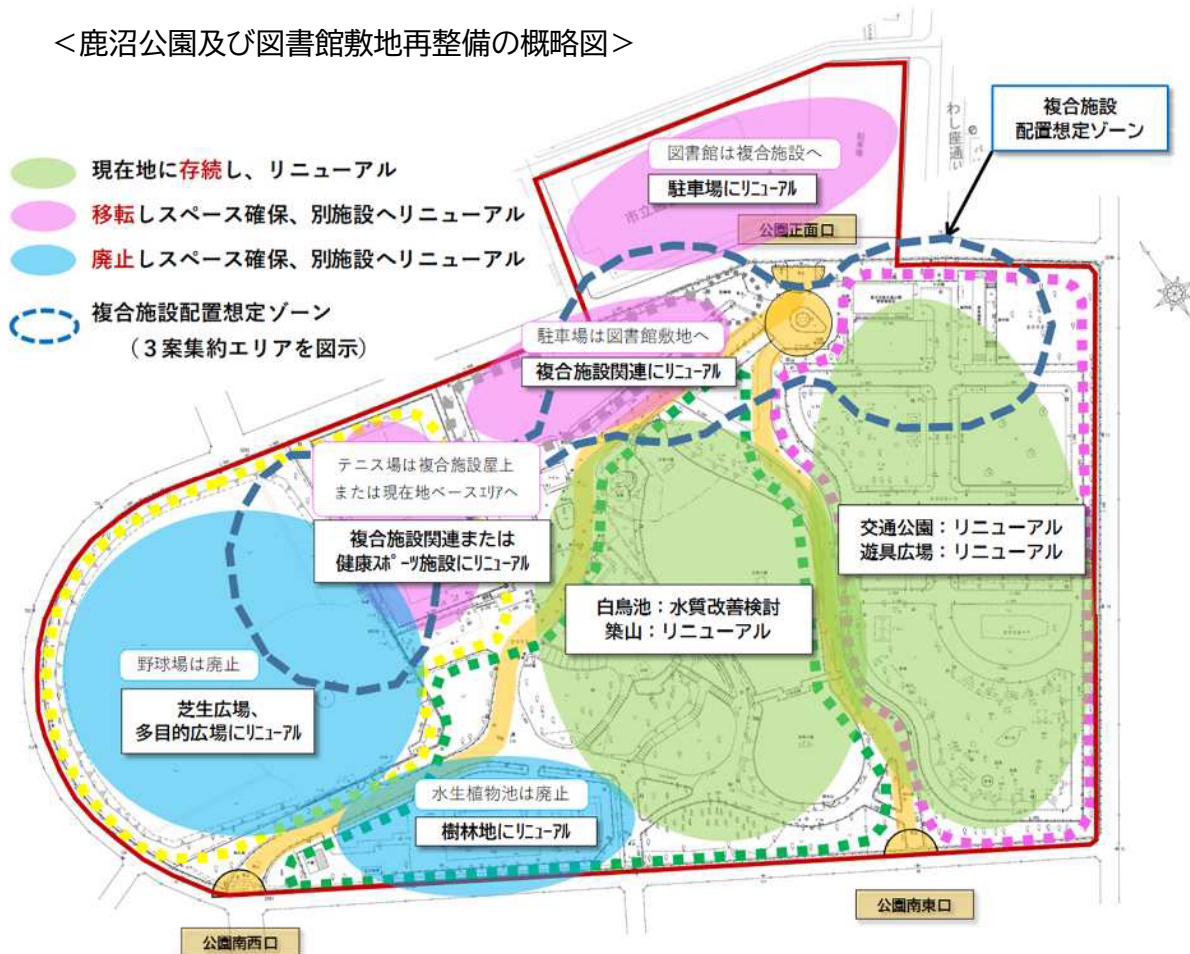
スムーズに有効活用が行えるよう、早い段階から地域の意見把握に努めるとともに、財政負担を軽減する方法などを含め、事業の実現性を確保するため、民間事業者等の意見把握に努めていきます。

第5章 鹿沼公園及び図書館敷地の再整備 【P42～53】

5-1 公園施設のリニューアルの方向性 【P42～45】

リニューアルに当たり既存公園施設の方向性を具体的に示します。方向性を定めるに当たっては公園の利用状況等を踏まえ、廃止や新設等を含め整理します。

<鹿沼公園及び図書館敷地再整備の概略図>



5-2 利用者専用駐車場・駐輪場の方向性 【P45~46】

(1)利用者専用駐車場

ア 規模

H29基本計画案において施設利用者数やアクセス手段などから推計した約140台程度を目安として検討します。

イ 位置

既存の公園内に整備すると、他の公園施設への影響が大きく、ゾーニングが制約されることや、車の進入・退出の安全面への懸念、将来的な収容台数変更への対応のしやすさなどを考慮すると、図書館敷地へ移転が望ましいと考えます。

(2)利用者専用駐輪場

公園内への自転車乗り入れ禁止の徹底を図る必要があることから、各主園路の出入口付近に整備することを基本とします。公園内への自転車の乗り入れ防止対策として、公園の東側外周部に園路を設けることを検討します。

5-3 複合施設配置可能エリアと図書館敷地を含めたゾーニングイメージ 【P46~53】

(1)ゾーニングの設定

ゾーニングは、最終的な施設配置の基礎となるもので、機能の区域割りをあらかじめ決めておくことで、各公園施設の利用形態や、利用年齢層、静かなエリア・活動的なエリアなどの特性の違いなどを勘案した施設配置が可能となります。

(2)各ゾーンのイメージ

ア 池と緑のゾーン

白鳥池、築山、樹林地をあわせたエリアを一つのゾーンとします。

イ 遊びのゾーン

児童交通公園、遊具広場、保存機関車をあわせたエリアを一つのゾーンとします。これら3つの公園施設は相互利用が多いことや、低年齢層の利用が多く想定されることから、より安全の確保が必要です。

ウ 多世代健康スポーツゾーン

テニスコート、新たに整備を検討する多世代向けの健康増進等に係る公園施設をあわせたエリアを一つのゾーンとします。

エ 憩いと交流のゾーン

芝生広場、多目的広場をあわせたエリアを一つのゾーンとします。憩いやレクリエーション活動、交流、防災といった機能を兼ね備えた広場の整備を検討します。

オ 駐車場ゾーン

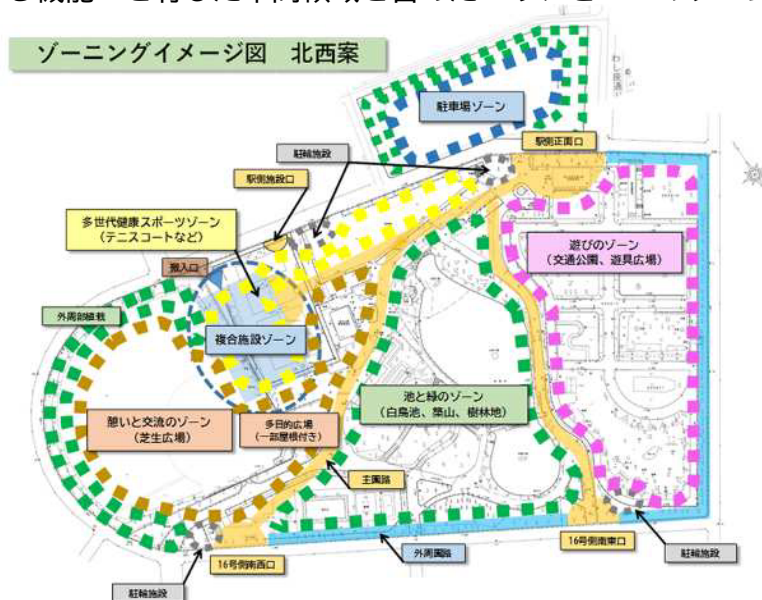
利用者専用駐車場を一つのゾーンとします。ゾーニングに当たっては、複合施設等との動線や距離が重要な要素となります。

カ 複合施設ゾーン

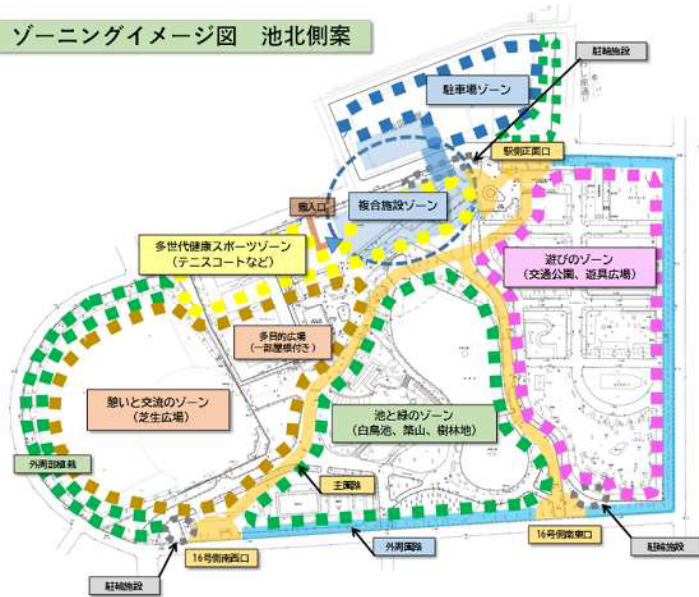
複合施設と、建物の外部空間の周辺施設と“つながる機能”を有した中間領域を含めたエリアを一つのゾーンとします。

(3)複合施設配置可能エリアとゾーニングのイメージ

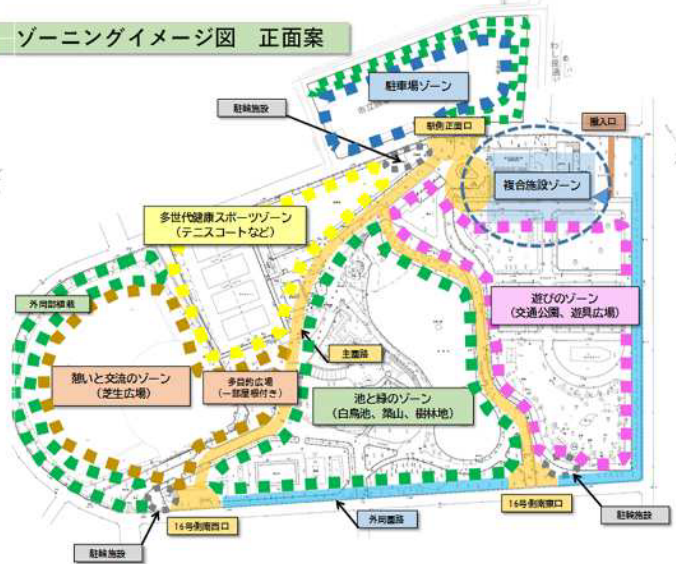
図書館敷地への駐車場の配置、野球場の芝生を再利用した広場の配置を前提とすると、複合施設配置可能エリアとゾーニングイメージは、次の3つに集約されます。



ゾーニングイメージ図 池北側案



ゾーニングイメージ図 正面案



(4)ゾーニングイメージの検証と複合施設配置エリア

3つに集約された複合施設の配置可能エリアとゾーニングのイメージについて、7つの視点からの検証結果、オープンハウスにおける市民等の意見などから、「池北側案」を基本として、最終的な複合施設の配置エリアを検討していきます。

検証内容		北西案	池北側案	正面案
1	現行公共施設の継続性が確保できるか？ ⇒仮設の有無、駐車場の確保など	○	○	○
2	複合施設が備える機能・効果が発揮できるか？ ⇒防災性向上、環境維持・改善、子育て・教育コミュニティ形成	○	○	○
3	主要公園施設の阻害要因となっていないか？ ⇒骨格的施設、動かせない施設への影響度合い	○	○ 注01	△ 注02
4	複合施設周辺では中間領域の機能が発揮できるか？ ⇒児童交通公園や複合施設など、各公園施設の利用者の目線での使い方、施設管理者用途での使い方	○	○	△ 注03
5	各ゾーンの機能の調和が取れているか？ ⇒動的・静的空間、利用者数や利用者層、歩行者動線とのつながり	△ 注04	△ 注05	△ 注06
6	公園外の周辺環境との関連性は合理的か？ ⇒道路付け、駐車場入り口やアプローチ路、公共交通機関からの動線、自転車対策	△ 注07	○	△ 注08
7	景観的要素への配慮はできているか？ ⇒規模感のある施設の見せ方(周辺との調和)、見え方(圧迫感の有無)、ランドマーク機能、眺望	△ 注09	○	△ 注10

注01 白鳥池北端が主園路及び複合施設に抵触しますが解決可能な範囲です。

注02 児童交通公園と複合施設ゾーンが大きく重なり、「遊びのゾーン」を圧迫します。

注03 複合施設の中間領域が設定しにくいエリアとなっています。

注04 公共交通機関、駐車場から複合施設へのアプローチが長くなり利便性が劣るほか、複合施設利用者のための公園出入口や駐輪場等が新たに必要です。また、テニスコートが地上部と複合施設屋上に分かれた場合、使い勝手が良いとは言えません。

注05 テニスコートが地上部と複合施設屋上に分かれた場合、使い勝手が良いとは言えません。

注06 複合施設、児童交通公園、主園路、テニスコートと利用者の集中する時間帯を持つ施設の利用動線が正面口に集まり、混雑する可能性が高まります。

注07 新たな公園出入口の設置のため、車道との安全対策や外周囲路の設置が必要となるほか、利用者専用駐車場からの距離が大きくなります。

注08 複合施設出入口が、道路付けとの関係から正面に設けられず、回り込むルートとなり、正面位置という利便性が生かし切れません。

注09 公園隣接マンションに近い位置への配置となり、圧迫感を与えやすいことから建物形状や高さなどの見え方に注意が必要となります。

注10 複合施設が駅方面からの目標物となりますが、立ちふさがりような状況となり、従来の緑や公園の存在感を損なう要因となります。

6-1 複合施設の全体方針 【P54～56】

(1) 複合施設内のゾーニング設定と諸室配置の基本的な考え方

市民活動スペースについては、誰もが気兼ねなく利用できるよう、使い方に応じた「にぎわい空間」、「活動空間」、「静かな空間」にゾーニングを行うとともに、図書館の蔵書エリアとして諸室付近に関連した本を置くなど、施設全体を、創造と発見につながるような、読書や学びのスペースとして検討します。

(市民活動スペースのゾーニングの考え方)

<p>にぎわい空間</p>	<p>予約不要で会話をしたり軽食をとったり、勉強したりすることができるフリースペースや、子どもも楽しく過ごせる場など、にぎわいが広がるような空間を検討します。</p>
<p>活動空間</p>	<p>会議室やスタジオ、多目的ホール、アトリエ等、目的がある人が使用するスペースを集め、お互いの活動を可視化することで交流のきっかけが生まれるような空間を検討します。</p>
<p>静かな空間</p>	<p>静かに読書や勉強をする、プライバシーに配慮して相談を受けられるといった、利用目的に対応した空間を検討します。</p>

次の図は、複合施設内で近くにあった方が良い諸室や機能の組合せについて、市民検討会で検討したエリアマップです。



(2)市民活動スペースの機能

ア にぎわい空間

フリースペース	予約不要でゆっくり過ごせるロビーや閲覧席等があり、打合せをする、お茶を飲みながら会話を楽しむ、一人の時間を過ごすなど、市民が気軽に利用できるスペースとして検討します。
子どものためのスペース	子どもが伸び伸びと遊べる多目的室や寝転がりながら本を読めるスペースなど、子どもの居場所や、子どものための活動スペースとして検討します。 また、学齢期前の子どものために、親子の遊びのスペースや保育室の整備を検討します。

イ 活動空間

会議室等	会議・集会、講座、展示、学習、ボランティア活動等のほか、軽運動等の活動にも対応できるスペースとして、さらに、利用人数に応じてスペースを仕切れることで広狭のニーズに対応したスペースとして検討します。 コミュニティ室は、地域活動団体の活動や、大野北地区における災害対策拠点として専用で利用できるスペースとして検討します。 和室は、茶道・生け花等のほか、談話、会議などに利用できるスペースとして検討します。
アトリエ	絵画や工作ができるテーブルや工具を備え、様々な創作活動や関連する講座、発表などに利用できるスペースとして検討します。
料理実習室	各種調理器具や調理台を備え、料理実習としての利用だけでなく、地域イベントや団体事業等にも活用できるスペースとして検討します。
スタジオ (音楽・ダンス等)	防音設備や鏡を備え、楽器演奏(バンド等)、コーラス、演劇、ダンス等の練習、音の出るイベントや、映像の作成等に利用できるスペースとして検討します。
多目的ホール	音楽、演劇、映画会、ワークショップ、講演会、フォーラム等、多目的に利用できるスペースとして検討します。また、市民が気軽に発表できる(自主的な活動を行える)というコンセプトの下、照明や音響設備については基礎的なものとします。

ウ 静かな空間

静寂読書室	静寂な環境で集中して読書ができるスペースとして検討します。
ワーキング スペース・学習室	仕事や勉強ができるスペースとして検討します。
相談室	プライバシーに配慮し、安心して相談をすることができるスペースとして検討します。

エ その他

館内サインにおけるユニバーサルデザイン・多言語表記・ピクトグラムの採用、利用者のインターネット接続環境の整備、災害時利用を想定した機能配置等を検討します。

(3)バックヤード機能

複合施設内の職員間の連携のしやすさのみならず、施設や事業の運営にも市民が積極的に関わっていくことができるよう、配置等を検討します。

6-2 整備の方向性と実現すべき機能 【P57~60】

複数の公共施設の機能を集約・複合化することから、機能の重複及び設置目的から見た課題を踏まえ、複合施設としてのメリットが最大限生かされるよう、整備の方向性と実現すべき機能を定めます。

(1) 図書館機能

ア 中央図書館機能の確立・充実

図書館ネットワークの中心となり、全市的なサービスの企画・推進や専門的なサービスの提供、他の図書館及び公民館図書室等への支援、専門的人材の確保・育成などを担う、中央図書館機能の確立・充実を図ります。

イ 地域の情報拠点としてのサービスの充実

地域における学習や情報収集の身近な拠点として、誰もが利用しやすく、快適に学び、居心地良く過ごせる環境の整備を進めます。

ウ 視聴覚ライブラリーとの一体化の推進

視聴覚教材や機材は一定の利用がある一方で、施設・設備については、時代の変化や利用者ニーズに対応しきれないなどの課題が生じてきており、より効果的かつ効率的な運営を図るため、図書館機能との一体化を推進します。

エ 学びの場としての目指す姿

図書館を、複合施設全体をつなぐ機能として捉え、図書館資料と図書館以外の施設の機能が連携し、新たな学びや創造が生まれるような、効果的な図書館資料の配置を図ります。

(2) 公民館機能

市内で最も諸室の稼働率が高い公民館であり、複合化に伴い、他施設の機能と連携することで、利用者間交流の更なる充実や地域コミュニティの一層の活性化が図られるよう検討します。

(3) まちづくりセンター機能

市内のまちづくりセンターで最も窓口取扱件数が多く、窓口の混雑が常態化していることから、利用者数に応じた窓口スペースの充実を進めていきます。また、地域のまちづくりを支援していく上で、多様化する地域活動に柔軟に対応できるスペースの確保を図ります。

(4) 青少年学習センター機能

自分で操作するなど創意工夫することができる舞台装置など、引き続き、現在の青少年学習センターの特徴的な機能を生かした施設整備と運営方法を検討し、青少年と一般利用者との交流の更なる充実等、一層の青少年健全育成を推進します。

(5) 国際交流ラウンジ機能

現在の国際交流ラウンジが持つ「外国人支援」「多言語での情報提供」「国際交流」に係る機能をより充実させるほか、国際交流ラウンジの認知度を上げ、これまで以上に多くの幅広い市民が国際交流ラウンジ事業に参画できるよう整備を進めます。

(6) 児童館機能

複合化に伴い、幅広い世代の利用促進や世代間交流など、児童の健全育成につながる効果が期待されることから、他施設の機能との連携を図ります。

第7章 想定事業費及び事業手法 【P61】

7-1 複合施設及び公園整備の想定事業費 【P61】

現在個別に設置している公共施設を複合施設として再整備を行うことは、施設の機能向上及び利用者の利便性の向上につながるだけでなく、従来の個別施設の面積の合計よりも小さくなることから、施設の更新費や更新後の修繕費のほか、経常的な経費(光熱水費、清掃等の委託費等)の削減が見込まれます。今後、民間活力導入可能性調査の結果等を踏まえ、複合施設の整備位置を絞り込んだ上で、より具体的な事業内容を基にしたコスト評価を行い、本事業の妥当性等を判断します(大規模事業評価)。

7-2 民間活力の導入検討 【P61】

従来型の個別発注方式や、市の直営による施設運営でなく、PPP/PFI手法などによる民間活力の導入について、本ビジョンの策定後に実施する民間活力導入可能性調査で検討します。

第8章 今後のスケジュール等 【P62~64】

8-1 今後のスケジュール 【P62】

現時点で想定されるスケジュールは以下のとおりですが、施設整備や管理運営の手法、事業者の選定状況によって変更となる可能性があります。これまでの市民検討会の検討結果やパブリックコメント等で出されたアイデア、意見等を参考にするとともに、本事業に関する情報を様々な機会を捉え積極的に発信し、市民や民間事業者等と対話の機会をつくりながら本取組を進めていきます。

令和4年度	まちづくりビジョン策定
令和5年度	民間活力導入可能性調査、大規模事業評価
令和6年度～	まちづくりプラン策定、アドバイザー業務委託
令和8年度～	設計・工事
令和11年度	竣工、解体

8-2 今後整理・検討すべき事項 【P63~64】

(1) 事業全体に関わる事項(PPP/PFIの実施に向けた調整事項)

効率的かつ効果的な整備手法(民間活力導入可能性調査による効果を検証)

(2) まちづくりに関する事項

- ・自転車駐車場再整備手法等
- ・駅前市有地の活用方針等

(3) 鹿沼公園及び公共施設に関する事項

- ・管理運営方針
- ・開館時間、利用料金
- ・諸室の在り方
- ・駐車場の規模、適正利用(有料化の検討)
- ・複合施設への移転の方法

発行/令和5年3月 相模原市

編集/都市建設局 まちづくり推進部 都市計画課
環境経済局 公園課
教育委員会 教育局 生涯学習部 生涯学習課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号

**令和5年度
地区まちづくりを考える懇談会**

～市民協働によるまちづくりを目指して～

相 模 原 市

まちづくり会議の設置目的

(地域の自主的・自立的組織)

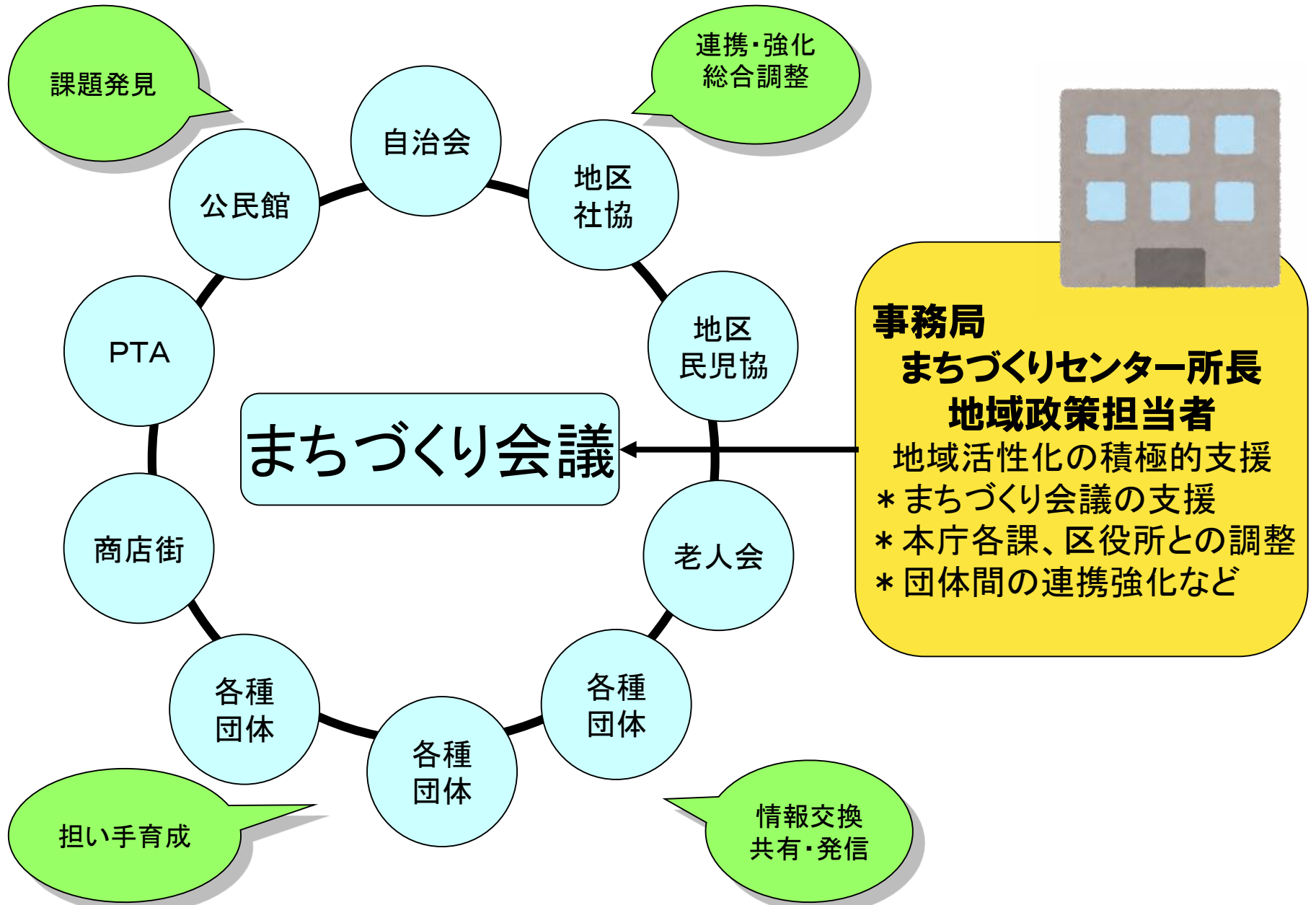
地域で活動している団体が
自主的に話し合い、
活動や課題について
情報交換をして
協働して課題解決に
向けた活動をする。

内容

- ・地域資源の発見
- ・課題の発見
- ・地域の魅力作り
- ・市への要望の
取りまとめ など



まちづくり会議のイメージ



地区課題の解決と地区まちづくりを考える懇談会

地区で解決
する課題

まちづくり会議

まちづくりセンター・区役所で支援
課題の整理・事案担当課等との調整など

地区と市の協働での
取組みが必要な課題
(テーマ)

市中心で対応
すべき課題

事案担当課

地区まちづくりを考える懇談会

地域の活性化や課題解決に向けて市と話し合う場
(まちづくり会議と市で協働実施)

地区まちづくりを考える懇談会の実施

テーマ

- ① 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- ② 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

【まちづくり会議】
委員

テーマの内容
地区の取組状況等

地域の活性化や
課題解決に向けて
協働して考え、
住みよいまちづくりを推進する

懇談

意見交換や情報共有

【市】
市長、副市長、
局長、区長等

テーマに係る
市の現状、経過、
取組状況、
今後についてなど

地区まちづくりを考える懇談会実施後の流れ

懇談の結果や共有した課題を
今後のまちづくりに反映

地区：
まちづくり会議
例：具体的な活動の展開
例：施策への協働

まちづくりセンター
地区と市の情報共有
進捗状況の共有

市：事案担当課
例：活動の支援
例：課題の検討
・施策への反映
・制度の見直し

地区と市が、より協働した課題解決への取組み

令和5年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

3 開催単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は原則午後6時からとし、協議により変更可能とする。

(まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の実施も可能とする。)

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。

【テーマの考え方】

- ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

令和5年度 地区まちづくりを考える懇談会の流れ

- (1) 開会（まちづくり会議委員）
- (2) 出席者の紹介（まちづくり会議委員・市側出席者）
- (3) まちづくり会議代表あいさつ
- (4) 市長あいさつ
- (5) 懇談

※議論の視点「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何か
という視点から建設的な懇談の場とする。

- ・テーマの内容をまちづくり会議から説明（パワーポイント、資料等）
- ・テーマに関連する市や区の取組等について説明（関連する区長、局長等）
- ・テーマについての懇談
- ・まちづくり会議代表あいさつ

- (6) 市長あいさつ（感想）
- (7) 閉会

大野北地区まちづくりを考える懇談会テーマ

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する（二つ以内）。

- ① 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- ② 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

概 要	公共施設の再整備と淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて
内 容	<p>大野北地区まちづくり会議では「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」での検討経過について、市の関係部署からの説明を受け、市に対して、意見や要望を行ってきた。その意見等も踏まえ、昨年度末に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」(以下「ビジョン」という。)が策定されたと認識している。</p> <p>今後は、新たなステージとしてビジョンに基づき複合施設の建設位置、諸室の配置やレイアウト及びスケジュールなど、更に具体的な内容を定めるプランを策定することと思われるが、引続き地域の意見を反映して進めていただきたい。</p> <p>そこで、まず大野北地区まちづくり会議やまちづくりを考える懇談会において市に対して行う意見や要望が、今後、どのような形で新たなプランに反映されるのかを確認する意味合いから、昨年度に引き続き懇談会のテーマを「公共施設の再整備と淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて」とした。</p> <p>市としての検討状況と進捗状況について、所管部署からの説明を求め、今後、策定される複合施設の具体的なプランについても伺いたい。</p> <p>今後、地域の意見をフィードバックできるようにするために懇談したい。</p>

■テーマの概要・内容

概 要	高齢者のごみ出し支援について
内 容	<p>ゴミの排出は曜日、時間、仕分け、集積場所の指定などルールが細分化され、高齢者のごみ出し支援については多大な労力が必要となるが、将来的にも支援ニーズが増大することが予想され、支援する側を悩ませている問題がある。一般的な庭の草むしりや話し相手（傾聴）、電球の取り換えなどは既存のボランティア体制で対応可能であるが、高齢者のゴミ出し支援は、ご近所の親しい間柄でなければ、継続的な実施が困難であると思われる。そこで、一つの解決策として、ごみの戸別収集が効果的であり、令和4年度市自治会連合会政策要望の「高齢者のごみ出しに対応した有料戸別収集」について、市に対して検討要望を行ったが、現状制度を維持しながら検討するとの回答に留まった。改めて現状を把握していただき、再考をお願いしたい。また、一部の地方自治体では高齢者のごみ出し支援を廃棄物部及び福祉部の連携により支援制度を確立している状況のようであり、市への導入を検討していただくために懇談したい。</p>